

※ 基礎(外気)断熱、基礎(内)断熱別々に仕様を設定できます。



Step.3 下記ダイアログが表示されます。「外気側表面熱伝達抵抗 Ro(外気)」をクリックし、

「外気」または「外気以外」を選択します。



※「部材の追加」をクリックすると、上記ダイアログが表示されます。[部材種別]で「断熱材」、「下地部材」、「密閉空気層」の中からいずれかを選択します。

▶ 「断熱材」 または 「下地部材」 を選択されている場合

名称をクリックすると、下記ダイアログが表示されます。希望の断熱材を選択して、

「了解」をクリックします。

材料の追加 - 基礎地盤400mm以上 ×	下地材料任導率 還行 · 基礎地盤400mm以上		×
部材種別	材料名	熟伝導率 現格等 55 #上典5	^
断热材 下地部材 密閉空氣層	アルミニウム 網	210 存出典5 370 存出典5	
	ステンレス期 岩石 十速	15 年23月5 3-1 年出典5 1 年出典5	
M — MCBP (BTRABP) M RANNEP	コンクリート 軽量コンクリート (戦量1種)	1.6 并出典5 0.8 有出典5	_
	転量コンジリート(転量2種) セメント・モルタル 神火成型セメント板	0.5 年出典5 1.5 年出典5 0.4 年出典5	
64* 軽量コンクリート(軽量1種)	せっこうブラスター しっくい	0.6 非出共5 0-74 非出共5	
厚さ(nm) 100 断熱材厚に補正	工整 ガラス アクリルガラス	0.68 年12.典5 1 年 注: 0.200 年出:典2	
熱伝導率(W/nK) 0.800	タイル れんが	1.3 非出典5 0.84 非出典5 0.84 非出典5	
低滅率	ロッジンニルに転転音板 火山性ガラス質様層板 寛業系サイディング	0-104 + 123-05 0-13	
この部材が外張断熱・付加断熱に相当する断熱材、 かつ、設定中の(展根・外壁・床等の)部位に断熱材を	¢	a in white	,
直通9つ約4月前かけ在9つ場合は底滅中に0.8を設定 して下さい。	厚 100 ▼ NN 任意厚み 昇出典1(※1)…低炭素建築物認定に係る対	该術的審査マニュアル(2013住宅編) 一般社団法人 住宅性範疇	価・表示協会 発行
7解 中止	#出典2(※2)…低炭素建築物認定に係る技 #出典3(※3)…住宅・建築物の省エネルキ H27.2.28 国立研究開発念人健藥研究所	法部的審査マニュアル(2015住宅4編) 一般社団法人 住宅性能額 ♀─―薬事及び低炭素速論物の認定薬事に関する技術情報 3-2外	価・表示協会 発行 皮の熱損失
	平忠共4(〒4)…一統社団法人 日本サッジ 非忠共5(※5)…平成28年省エネルギー基準 第三節 熱質流率及び線熱質流率 R03.02.1	協会 技術情報 20-0301、20-0502 「建具とガラスの組み合わ 第に準治したエネルギー:消費性能の評価に関する技術情報(住) 12/第四節 日射時収得率 R03-03-18 国立研究開発法人強結研	(ゼ」による開口部の熱賞流率表 約)2-1第三章 究所

▶ 密閉空気層が選択されている場合

「空気層厚 10mm 未満」または「空気層厚 10mm 以上」を選択した場合は、 電卓が表示されるので、空気層の厚さを設定して下さい。

「ユーザー設定」を選択した場合は、

空気層の熱抵抗値を(0.001~0.99) m K/W 以内で設定して下さい。

	× 2前空5.等		○空気層厚による熱担	抗の値
空気層の種類 空気層厚 10mm ⁴⁴¹			厚さ	熱抵抗値
厚さ(m) 10 2 熱抵抗値((n ⁱ)(ψ)) 0.080 (i)(i)(i)(i)(i)(i)(i)(i)(i)(i)(i)(i)(i)(空気層厚 10mm 未満	空気層厚 10mm 未満	(1~9.9)mm 以内で設定	(0.090∼0.891) ㎡K/W
	空気層厚 10mm 以上	空気層厚 10mm 以上	(10~100)mm 以内で設定	(0.900) ㎡K/W
	ユーザー設定	ユーザー設定	-	(0.001~0.99) ㎡K/W以内で設定
-	中止			

Step.4

すべての設定が終わったら、「了解」をクリックすると、 深基礎部分が一括作成されます。



※ 床断熱の場合は、"玄関" "浴室" "勝手口" "シューズクローゼット" が 深基礎部分として取得されます。(深基礎の箇所に取得されます。)



補足機能(初期値設定)

操作手順

メニューバーの「設定(C)」-「初期値設定(I)」の順にクリックします。 下記ダイアログが表示されます。

断熱材選択文字の登録 U値 部材 熱伝導率登録 U値 開口部 熱貫流率登録 ŋ値 開口部 日射取得係数登録	初期自治 1月時日 - その他 - 花田 - その他 - 花田 - その他 - 花田 - その他		
初期値設定(I) 出力余白設定(Y)		827001/06 (1997) (^{屋根天井 K合 」 ▽ 面類第式有 取得 移分の 自動作成を行う 千葉県 千葉市 6世域 A3H4}

◆ [深基礎部分の取得]で「</>
「
 深基礎部分の自動作成を行う」にチェックを入れた場合
 起動時の初回計算時に[深基礎部分一括作成]コマンドが自動実行されます。

又、「

「 深基礎部分の自動作成を行う」にチェックを入れた場合は、メニューバーの

「 再計算(R)」-[再集計する項目]で「

「 面積」にチェックを入れて「了解」をクリックしても

[深基礎部分一括作成] コマンドが実行されます。

※ただし、仕様選択ダイアログは表示されず、標準の仕様としてメイン画面[主な断熱仕様]の

グラスウール新動材 通常品 16-45

[土間床]の断熱仕様が使われます。



